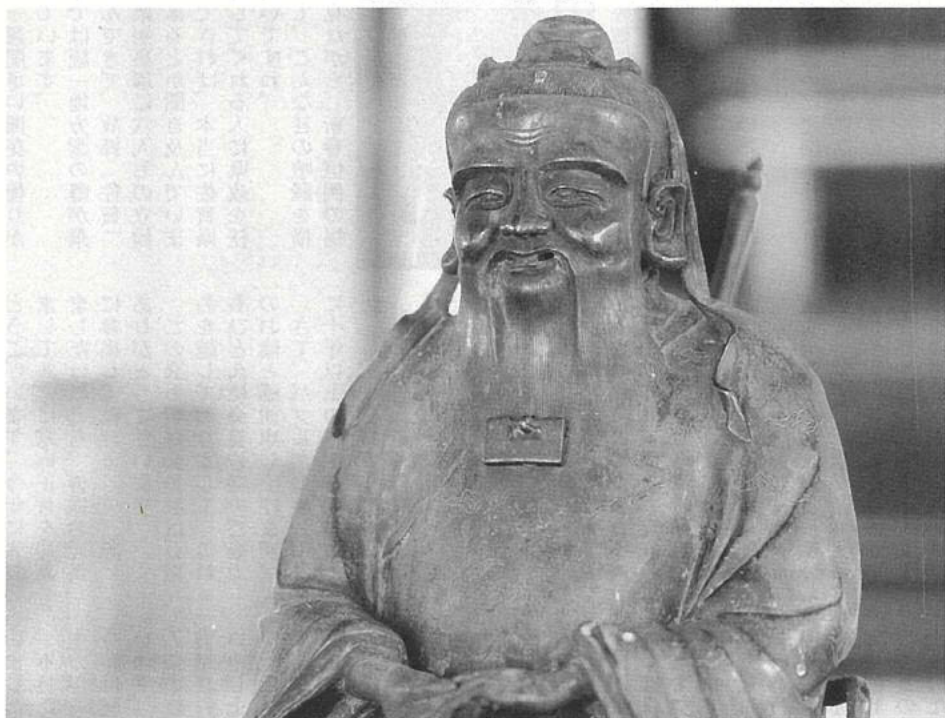




福岡市佐賀県人会会報



国内に現存する唯一の中国の銅製孔子像 江北町

目 次

表紙 国内に現存する唯一の中国の銅製孔子像	江北町
平成15年新春懇親会	2~3
ごあいさつ 福岡市長 山崎広太郎氏	4
ふるさとの首長・ふるさと紹介 江北町 田中源一町長	5
第26回 全国育樹祭に参加して 監事 古賀利治	6~7
このごろ私は 吉松誠一郎さん	7
郷土の歳時記 (15.3~15.12)	7~9
佐賀県だより 佐賀新聞社提供	10~11
最近の入会者名簿・佐賀情報センターだより・編集デスク	12

46

2003.2

続いてご来賓の紹介に移り、保利耕輔、坂井隆憲（代理）、山崎拓（代理）、今村雅弘の四氏衆議院議員と県議員より、武藤英治、井手勝美、堀宏行の三氏、そして市議会より南原茂、川上義之、川上晋平の三氏をお迎えし、さらに太宰府市議会から岡部茂夫氏においで頂きました。



今村衆議院議員 保利衆議院議員

いておりますし、嬉野町では、昨年皇太子ご夫妻をお迎えして「第二十六回全国育樹祭」が開催されるなど、話題の多い年になりました。



井浦副会長

さて、来賓のご挨拶が終わり、佐賀県知事ほか十四通の祝電を披露して式典を終了しました。



武藤県議



平間土木局長

紹介され、保利・今村の両代議士からは国会報告を兼ねた新春のご挨拶を頂き、又市・県議を代表して、武藤英治議員よりご挨拶を頂きました。



其二、一般会員席



永倉副会長



金子会長

辻副会長

その一、主賓席で

で、平成十五年度の飲み始めの幕が開きました。

お楽しみ抽選会



松本社長からチケットです。

博多座のチケットは、高木利恵子さん、井上あき子さん、指方清子さんが当選です。



会長賞（唐津シーサイドホテル宿泊券）当選の諸藤政純さん



真剣な抽選風景です

其三、抽選会

今回も会員の皆様のご好意により、たくさん景品が集まりました。この紙上をお借りしてお礼申し上げます。

その四、総踊り

佐賀県の歌「栄えの国から」を全員で大合唱



平成15年 福岡市佐賀県人会新春懇親会

平成15年 1月24日(金)

平和桜本店

岡市佐賀県人会が、天神の平和桜本店で開催されました。定刻を少し過ぎた頃、井上理事の司会で、「平成十五年度新春懇親会」の幕開けとなりました。



金子会長 年頭の挨拶

おられますが、このような不透明感の裏には、テロ・戦争の不安・アメリカ経済の行き先不安があるからと思います。又、金融機関の不良債権が再燃したり、デフレ懸念などが益々個人消費の悪化を助長しているようです。



辻副会長 開会の挨拶

岡国際会議場が開館して、四月には日本医学会総会が開催されます。又、九大の前原移転や都市高速・地下鉄三号線の整備など活気溢れる都市造りが進行しています。

暖冬とも思えない十五年の新春に、なぜか梅の花は例年より一週間早い開花の便りが届いています。

挨拶がありました。皆さん、明けましておめでとうございます。今年に入りまして非常に寒い正月を迎えまして、誠に申し訳ありません。

がありまして、新しい時代を予感させる明るい話題もございました。

謹賀新年

會 長	副 會 長	指 山	森	永倉遵五郎	井浦	代表理事 山下	常任理事 田中	太田	田中	理 事 井上	沢村	小松	落合	水間	前田	清村	古賀	監 事 久保
金子 宜嗣	辻 長英	弘養	泉		順爾	廣人	秀男	勇吉	則雄	浩輔	利次	省己	良太	繁俊	文敏	克行	利治	悦次

「人とみどりが輝く ふれあい交流拠点のまち」

ふるさとと首長



江北町
田中源一町長

江北町はかつて炭鉱の町として栄え、閉山後は企業・ゴルフ場の進出、国道34号江北バイパスの開通による大型商業店舗・住宅開発など民間の土地需要が高まっています。

交通の要衝としての地理的優位性を活かし、広域交流拠点の町づくりを基本に、主要道の整備、県西部地域から佐賀市・有明佐賀空港へのアクセス道路である県道江北・芦刈線工事の推進、JR肥前山口駅舎の橋上化、駅北口広場工事の着工など、交通結節点としての機能強化、今年10月にJR肥前山口駅南に、県内外への情報発信・広域的な地域間交流拠点施設として、コミュニティセンター、県西部地域で最大の規模の多目的体育館、

地域の保健・福祉の拠点である保健センターからなる「佐賀のへそ・ふれあい交流センター」が完成します。

さらに快適な生活環境づくりのため、下水道事業を積極的に展開し、平成11年から一部併用開始を行っています。

また、本年は江北村から昭和27年に、私たちのふるさと江北町が誕生し、先人たちが築かれた50年の節目を迎えることが出来たことに感謝し、10月18日に町制施行50周年式典を開催します。

一方では、本町を含む杵島6町で法定合併協議会を昨年7月に設置し、地域資源を活かし、住民サービスの向上を念願に、合併を推進していく所存であります。

江北町は、国道34号・207号やJR長崎本線が分岐し、県西部地域の交通の要衝であり、県の中央に位置することから「佐賀のへそ」として、イメージキャラクター「へそがえるピッキー」を制作しPRしています。

町では安心・安全な農産物の供給基地として、有機の里づくりを推進し、うるち米・れんこん・キウイフルーツが、JAS法に基づく有機認証を取得。さらに、昨年日本で初めてイタリヤのスローフード協会から町内の生産者がスローフード・アワード賞を受賞され、有機栽培や循環型農業が町の特色



の宿場町として栄え、今日でも町内のいたる所に当時の面影を残し、なかでも馬

長崎街道の宿場町として栄えた時代のたたずまいを残す町並みぜひご覧下さい。

JR肥前山口駅北側の御獄山中腹には、夜になるとへそがえるピッキーのイルミネーションが「ふるさとへおかいりなさい」といった願いを込めて輝いています。江北町においでの際は、

ある取組として注目されています。

また、古くから長崎街道

ふるさと紹介 江北町

頭観音堂と楠樹はケンベルやシーボルトの紀行文の中にも記述されています。

毎年3月末にはJRウォーキングと併せ長崎街道小田宿祭りが行われ、早春の長崎街道と歴史を満喫でき、コースには雲仙普賢岳など270度の景色が一望できる白木バノラマ孔園や国内に現存する唯一の中国の銅製孔子像として、歴史的価値が高い白木孔子像などがあり、見所に尽きません。博多駅からJRで45分程です。是非ご参加下さい。

「元氣な都市・福岡」 自治都市・福岡を 目指して



福岡市長 山崎 広太郎

福岡市佐賀県人会の会員の皆様方におかれましては、おだやかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年が、皆様にとりまして幸多い年でありますよう心から祈念いたします。

昨年12月、第33代福岡市長として引き続き市政を担当させていただくことになりました。あらためて、市民の皆さんに身近に感じていただける行政、共感と共鳴を得ながら、市民の皆さんに信頼をいただける市政運営を行うことに全力を傾けていきたいと、想いを新たにしているところです。

さて、佐賀県と福岡市は、九州・アジアの中で、大きな役割を担う夢と可能性を有する都市です。私は、もはや人口の多寡のみで都市の力を判断する時代は終わっており、都市の潜在力を引き出すことで都市の「元氣さ」を伸ばしていくことが大切だと考えています。そこで、将来に向けて必要な施策については、健全な財政運営を維持しながら、徹しくメリハリを付けて選択のうえ、九州・アジアという広域的な視点に立つて、都市政策を展開してまいります。

そして、行政は、市民・民間の活動を容易にし、後押しする役割を担うべきであると考えていますので、全ての事業について、効率的・効果的な市政運営に心がけ、「元氣な都市・福岡」を実現してまいります。

また、市政運営全般において、市民の皆さんの内にある

「自らのまち」に対する「愛情・愛着」に根ざした自治意識を大切に、子育て、福祉、環境、防災・防犯など、地域の課題に対して、地域の問題は地域で解決するという地域経営の基本原則を確立し、「自治都市・福岡」を目指してまいります。

このために、まず子育て支援施策の充実など、地域で安全で安心して暮らせるための施策を重視します。これからの社会を担う子どもたちの健全な成長は、変わるのではない私たちの願いです。春には「子ども総合相談センター」が開館します。さらに、子どもを安心して生み育てられる環境づくりを進めていくために「子育てサロン」の増設や「子どもプラザ」の設置を検討してまいります。

次に、集客産業の振興など、多彩な交流をはぐくみ、福岡の都市活力を引き出す施策を展開してまいります。3月には福岡国際会議場が開館し、4月には日本医学会総会が開催されます。おもてなしの都市にふさわしい魅力ある都市部の整備、集客産業の振興、都市高速道路、地下鉄3号線などの交通体系の整備を行う

とともに、モラル・マナーの観点からも総合的に取り組んでまいります。

今も大変厳しい経済状況が続いています。地場産業が知恵と工夫により、勝ち残っていくための自己改革を支援するとともに、創業しやすい環境づくりに取り組んでまいります。

アイランドシティのまちづくりや国際港湾機能の整備、九大移転を契機とした学術研究都市への取り組みは、福岡の将来を見据えたプロジェクトです。未来への大きな可能性をもつ福岡の更なる成長と発展のため、情報開示と説明責任を大前提に市民の皆さんとともに取り組んでまいります。

また、九州・アジアの発展こそ、福岡市の発展のよりどころです。福岡が率先して九州全域の活性化に大きな役割と責任を果たしてまいりますので、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、福岡市佐賀県人会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝をお祈りいたしまして私のあいさつとさせていただきます。

便利なクルマ、楽しいクルマが たくさんそろったトヨタレンタカー

TOYOTA



トヨタレンタリース福岡

本社 〒816-0096 福岡市博多区東光寺町1丁目1番1号 TEL (092) 461-0100 (代表)・FAX (092) 451-0131



0120-489446

カーリースのお問い合わせは ☎092-461-0100

我が家のルーツ探し
みなさんこんにちは。佐賀新聞社福岡支社に昨年四月から勤務しております吉松誠一郎と申します。福岡市民となつて、早いもので十カ月。ようやく博多の町も少しは分かるようになって来ました。



県人会新会員
ご挨拶
吉松 誠一郎さん



以外はずっと佐賀暮らしで、福岡生活は初めてです。なかなか緑がなく福岡に出かけることもまれで、天神の中心部くらいしか土地勘がなく、赴任当初は右往左往しておりました。

こんな私ですが、我が家のルーツをたどれば福岡、特に博多の町とは深い縁があります。話は戦前に遡ります。私の祖父は、博多で「吉松の和菓子」という屋号の和菓子屋を営んでいたようです。場所ははっきりしませんが、父の兄が筑紫丘中学(旧制)卒ということから、今の博多区か南区あたりではなかったでしょうか。父の話によると、従業員を多数抱えて手広い商売を行っていたということでしたが、戦争とともに物資が不足し、砂糖が配給制となつて商売が成り立たなくなり、地元の相知町に一家で帰つたということです。父は、小学校から博多の町で過ごし、福岡工業学校(旧制)を卒業。すでに他界し

てしまいましたが、生前は博多の町の話をする時が一番楽しそうだったことを、こちらに来て思い出しています。

私は現在南区清水に住んでいますが、唐津に住む叔父によれば、子供のころ泳いだりシジミ貝を採ったりしていた懐かしいところとのこと。偶然にも我が家のルーツに意外と近いところに住まいを見つけたのかもしれない。

福岡勤務が何年になるか全く分かりませんが、在任中に我が家のルーツについて少し調べてみようかと思っています。五十数年前の話ですが、福岡市佐賀県人会の皆様で、もし「吉松の和菓子」についてご存知の方があれば、ぜひお聞かせ下さい。よろしくお願いします。

佐賀新聞社福岡支社
営業課次長

佐賀新聞社福岡支社
営業課次長

郷土の歳事記

※行事の日程等は変更があります。

4月

1日 はがま祭(鹿島市世間)
2日 ひなまつり茶会(鎮西町 茶苑 毎月)
3日 鬼子母神祭(小城町光勝寺)
初旬 大野原南原野祭(嬉野町)
9日 フォーブル・アズ・イン・ザ・ビル(東郷町)
9日 しおた「イグ」の里ロードレース大会(塩田町)
上旬 春風ウォーク(中原町)
15日 おかゆだめし(北茂安町千乗八幡宮)
15日 おかゆびらき(川副町志賀神社)
16日 公認歌垣の郷ロードレース大会(白石町)
18日 観光の日(佐賀市)
中旬 佐賀レディースロードレース(佐賀市)
中旬〜4月下旬 観桜大会(小城町)
21日 和泉式部忌(有明町福泉寺)
29日 直前の日曜日 曾根崎の獅子舞(鳥栖市曾根崎)
最終日曜日 とす弥生まつり(鳥栖市)
最終日曜日 虹の松原春まつり(唐津市・浜玉町、虹の松原全域)
下旬 第7回TAKEO・世界一登壇まつり(武雄市竹古場町の森公園・飛龍殿)
下旬 吉野ヶ里菜の花マーチ(神埼町ほか)
下旬 全国中学校選抜剣道大会(神埼町)
下旬 鎮西町とくら祭り(上野町)
下旬 環境フェスタ(三日月町)
下旬 長崎街道小田宿まつり(江北町)
下旬 桜まつり・観桜ロードレース大会(福岡市マイランド公園)
下旬〜4月上旬 旭ヶ岡公園桜まつり(鹿島市)
下旬〜4月上旬 いまり春まつり(伊万里市)
下旬〜4月上旬 唐津城・鏡山の桜見頃(唐津市)
時期未定 佐賀市農林水産まつり(佐賀市)

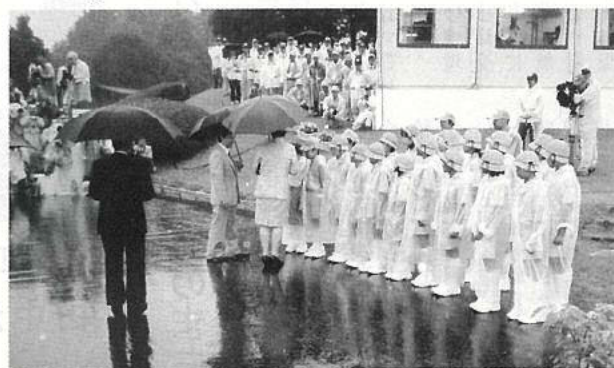
1〜6日 伊万里春の祭元市(伊万里市)
1日〜5月5日 御船山楽園花まつり(武雄市御船山楽園)
1日〜5月中旬 川上峽鯉のぼりの吹き流し(大和町)
5日 おやまん祭(塩田町古市神社)
第1土曜日 春雨まつり(小城町)
第1土・日曜日 武雄温泉春まつり(武雄市)
第1土・日曜日 北茂安町春まつり(北茂安町白石神社周辺)
第1日曜日 さが桜マラソン(佐賀市)
第1日曜日 白山神社春祭(玄海町)
第1日曜日 黒髪山開き(西有田町竜門山の家)
10〜12日 日傘さん(佐賀市松原神社)
10〜20日 お経会(大和町夷相院)
10〜5月3日 しゃくなげ祭り(北方町高野寺)
初旬 られしの茶ミット、吉田おやまん、脚湯まつり(嬉野町)
初旬 桜ロードウォークラリー(嬉野町)
上旬 えひめあやめまつり(佐賀市久保泉町)
上旬 国際アマチュア陶芸展伊万里(伊万里市)
上旬 チューリップまつり(久保田町)
上旬 ふな祭り大会(神埼町)
上旬 黒髪山、春のぼのまつり(山内町)
上旬〜5月上旬 貝菓市とフリーマーケット(武雄市)
上旬〜5月下旬 観光潮干狩り(川副町・諸富町)
第2日曜日 大隈祭(佐賀市)
第2日曜日 富士町健康マラソン大会(富士町)
18日 多々聖廟祭(多久市)
19日 健神社春祭(玄海町)
19日〜5月6日 高伝寺釈迦堂まつり(佐賀市高伝寺)
中旬 江藤新平銅像まつり(佐賀市)
中旬 菜の花フェスタ(神埼町)
中旬 乙宮社西宮社春祭(牛津町)

3月

第二十六回 全国育樹祭に参加して

古賀 利治

平成14年10月6日、会場は樹齢20年の杉の木の手入れが行き届いていた。現地係員の指導で杉の木の上2m内外の下枝を鋸で枝を切つて枝打ち作業を行った。全国の代表者300人位集り盛大であった。



皇太子ご夫妻

会場は嬉野総合運動公園(昭和62年第38回全国植樹祭会場)で開催された。大会テーマは「未来に根を張れ みんなの緑」の方針の下に、森林は緑や木材の生産のみならず国土を守り、清らかな水と空気を生みだし、多くの生物を育む等、私たちの生活に「うるおい」「やすらぎ」を与えてくれます。この貴重な緑の資源

は先人から受け継いだがえのない財産であり、大切に守り育て次の世代にしっかりと引き継ぐことが私たちに課せられた大きな使命です。参加者は県人会から森泉副会長、田中則雄常任理事、落合良太理事、古賀利治監事外に地元出身の井上説蔵さんであった。県外招待者1300名、県内



招待者3700名、協力員2000名で計約7000名が参加した。11時、皇太子同妃両殿下が佐賀県知事先導の下に御着席された。参加者一同起立し日の丸の旗を振りお迎えをし、東唐津線の少年団の先導により、大会長の国土緑化推進機構理事長がお出迎えし、大会々長佐賀県知事による主催者挨拶があり皇太子殿下のおこたを賜った。雨は一段と大降りになり「ビニール」の雨衣に身を包み参加者はじっと辛抱し乍ら、しづしづとして会の進行を見守った。



県人会役員のみなさん

佐賀県緑化等功労者の個人、団体の、林業振興関係5団体、個人20人に又皇太子同妃殿下が(昭和62年昭和天皇が植樹された桧木)枝の手入れで枝を切られ(枝打ち)施肥をされた。

次期開催県は愛知県と決定し、閉会のことばが佐賀県副知事から述べられた。

最後に皇太子同妃殿下がお立ちになり参加者一同日の丸の旗を振りふりご出発を見送った。雨足益々けしき降る中参加者はそれぞれ解散していった。皆様ご苦勞様でした。

◇献立で全国最高賞◇

◎：昨年九月、長崎県で開かれた「全国健康づくりわが家の食卓献立作文コンクール」（日本食生活協会主催）で、藤津郡塩田町真崎の鳥巢やす子さん（六六）の「ゴーヤのパワアップ和え」が最高賞の入賞（三点）に輝いた。

同コンクールは乳製品を使ったアイデア献立を競うもので、全国から七百七十点の応募があった。

鳥巢さんの作品は地元で取れるゴーヤを使って、ゴーヤの緑、花豆の白、パプリカの黄色や赤などカラフルな彩りに手製のカツネージチーズをうまく混ぜ合わせた料理。乳製品を上手に摂取でき、食感や色合い、栄養面にも優れ、健康的で万人向きが高く評価された。

鳥巢さんは「今回の受賞を機に、健康的な食生活を地域に広げる運動に積極的に取り組みたい」と話している。

◇佐野常民一〇〇年式典◇

◎：日本赤十字の創始者で、佐賀七賢人の一人、佐野常民の没後百年記念大祭が昨年九月二十一日、出身地である川副町の川副中で盛大に行

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

われた。

若き日の佐野の写真が飾られたステージで、主催者の藤森昭一（日赤社長）と江口善巳町長が「創始者の思いを胸に刻み、世界の福祉に全力を尽くしたい」「痛ましい事件が世界中で続く中、今こそ博愛の精神を」とあいさつ。

青少年赤十字の活動報告や同町のコーラスグループが「佐野先生を讃える歌」を披露。記念講演では郷土史家の福岡博さんが、佐賀藩海軍の創設、日本美術の振興など佐野の多面的な業績に触れ、「政治家



スターを目指す夢乃聖夏さん(右)と朝夏まなとさん

タカラジエンヌ

夢乃聖夏さん（多久市）朝夏まなとさん（佐賀市）

虹色のライトが舞台を照らす。リズムに乗って生き生きと動き、歌い、物語る。その宝塚の舞台に、十数年ぶりに県出身者が立った。二年目の夢乃聖夏さん（多久市出身）と、〇二年四月に初舞台を踏んだ朝夏まなとさん（佐賀市出身）。男役スターを目指すタカラジエンヌだ。

多久市の自宅から佐賀市



佐野常民の没後百年大祭

でも幕末の志士でもなく、文人だった」と指摘した。

◇「くんち」を出版◇

◎：唐津市出身で東京在住のフリージャーナリスト金丸弘美さん（五〇）男性Ⅱが唐津くんちの魅力をまとめた『えんや！曳山（やま）が見た唐津』を出版した。曳山や装束、道具、料理、露店などまつわるエピソードや裏話も紹介。唐津っ子のくんちにかける熱い思いが伝わってくる。

佐賀新聞「唐松特集」に一九九九年九月から二〇〇二年五月まで六十六回にわたり連載した「くんち」を出版した。

のバレエスクールまでバスで通って宝塚音楽学校受験に備えた夢乃さん。三歳からピアノとバレエで鍛えた朝夏さん。みごとに十数倍の難関を突破した。演劇、バレエ、日舞、音楽：あつという間の二年間だった。

タカラジエンヌでも舞台中央で華やかなライトを浴びるのは一握りの人間だけ。若い二人にはチャンスはあるが、その道のりは長く厳しい。「存在感のある舞台人」と目を輝かせる二人は、階段を一つずつ上り始めたばかりだ。

◇佐古・前学長らに◇

◎：第四十七回佐賀新聞文化賞と文化奨励賞の表彰式が昨年十一月一日、佐賀市のホテルニューオータニ佐賀であった。

今回の文化賞は▽佐賀大学前学長の佐古宣彦氏（六六）▽学術部門▽九州陶磁器デザイン協会理事長の森正洋氏（七四）▽芸術部門▽永原学園理事長の福元文香氏（八四）▽教育部門と、文化奨励賞が佐賀大学文化教育学部助教授の上野景三氏（四六）▽教育部門の計四人。

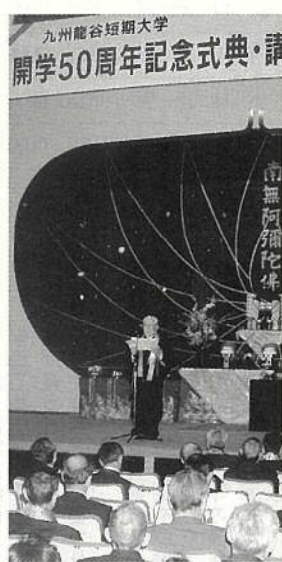
佐古氏は産学官の連携や

◇開学五〇周年祝う◇

◎：開学五〇周年を迎えた鳥栖市の九州龍谷短大（川崎恵璋学長）は昨年十一月二十二日、同窓生ら四百人が出席して同短大で記念式、また、同市内のホテルで祝賀会を開き、半世紀の歩みを振り返った。

式には卒業生や浄土真宗西本願寺派の寺院関係者らも出席。音楽法要形式で進行し、川崎学長が学校の歴史をたどった後、「人々の心を開くことを願い、地域に開かれたユニークな短大を目指してきた」と式辞を述べた。

また、五十周年を記念して作家の五木寛之氏が「悲泣の時代に」と題して講演。約八百人が聴講した。同短大は一九五二年、佐賀市の佐賀龍谷学園が仏教科の単科で開学（当



九州龍谷短大の開学50周年記念式典

時は佐賀市水ヶ江。八五年、鳥栖市に移転し、現在は人間コミュニケーション学科と保育科の二学科に二百四十六人が学んでいる。

◇「黒川音頭」披露◇

◎：伊万里市黒川町に新しいふるさとの歌「黒川音頭」が誕生した。町民仲良く歌って踊れる曲を目指し、地元元区長会が中心となつて制作。昨年十一月十七日、黒川公民館で開かれた「ふるさとまつり」でお披露目された。一昨年、区長会の席上で黒川音頭づくりが話題になつて以来、準備を進めてきた。塩屋区長で元国語教師の長野敬人さん（六六）と、元音楽教師の妻由子さん（六五）が作詞作曲した。

「朝のあいさつ笑顔でかわし」で始まる一番は町を挙げて取り組んでいるあい



「ふるさとまつり」で披露された「黒川音頭」=伊万里市の黒川公民館で

◇初挑戦で八段に◇

◎：東松浦郡厳木町で武道



剣道八段試験に合格した田代潤一さん

現在も週一回の稽古に汗を流し、仕事の面でも従来の防具を改良し動きやすい新スタイルのものを販売するなど研究熱心な田代さん。「剣道界

具店を経営する田代潤一さん（四八）同町本山Ⅱが超難関といわれる剣道八段昇段試験に昨年十二月、県内最年少で合格した。今年の場合、全国から千二百九十九人が挑戦し、合格者はわずか十三人。田代さんは「まさか合格するとは思っていません」と喜んでいる。

田代さんと剣道の出合いは小学校六年の時。友達達の父親が剣道の先生だったため、遊びの延長で習い始めた。その後、中学校、高校と部活を続け、社会人になっても道場に通った。全国剣道連盟対抗大会の団体優勝や、県大会での団体優勝の戦歴も持つ。

初挑戦ながら実技のほか、日本剣道形、学科試験も合格し、県内四人目の八段昇格を成し遂げた。

◇民謡功労賞を受賞◇

◎：民謡界で活躍する伊万里市松浦町の渕英昭さん（五九）が民謡界最高の栄誉とされる日本民謡協会の「民謡功労賞」を受賞。今年一月、祝賀会があった。

伊万里市の花柳界ではやった「ちりがん節」や、北原白秋作詞、町田嘉章作曲の「松浦湯」など地域に眠る民謡を掘り起こし、全国に紹介した取り組みが認められた。

渕さんは嬉野町吉田生まれ。三味線や踊りが好きな祖母の影響で、三歳のころから浪曲や流行歌が得意で、地区の会合で披露していた。現在、ビクターレコードの専属歌手で、二百人の弟子がいる。

渕さんは「県内に眠る民謡は多く、今後も発掘、普及に力を入れた」と意欲的。祝賀会には四百人が駆けつけ、受賞を祝福した。

この欄の記事・写真は佐賀新聞社の提供です。

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

福岡市佐賀県人会 最近の入会者名簿

氏 名	郵便番号	住 所 (自宅)	電話番号	職業・勤務先	出身地
光 岡 富 和				(株)日建設計	佐賀市
井 上 あき子				井上博多人形	相知町
大 原 弥寿男				古川忠事務所	武雄市
式 町 和 幸				(株)山実業	川副町
川 上 晋 平				市議会議員	三日月町
越 智 正 憲				(株)芳元社	佐賀市
江 口 浩三郎				ミール保育園	佐賀市
内 川 光 一				(株)博多うち川	佐賀市
小 林 正 明				(株)日立ビルシステム	佐賀市
野 田 昌 利				野田総合事務所	佐賀市

佐賀県福岡情報センターだより

佐賀城下ひなまつり開催

佐賀市は、佐賀藩鍋島家の城下町として栄え、今でも武家屋敷や古い商家が点在し、水路や街並には往時の面影が残っています。そんな歴史の宝庫で開催されるのが、佐賀に春の訪れを告げるイベントとして定着してきた「佐賀城下ひなまつり」です。

佐賀のひなまつりの特徴は、その雛人形の質の高さと優雅さにあります。江戸時代末期から明治時代にかけて、鍋島家の歴代夫人たちが所用した雛人形・雛道具は豪華で格式がある貴重なものです。また、佐賀藩の公服である袴の紋様に使われていた「お留型」といわれる鍋島小紋を衣装に用いたお雛様は、佐賀でしか見られません。さらに、佐賀の伝統工芸である佐賀錦のお雛様は豪華で気品があります。いずれも本物だけがもつ風格と優雅さを備えており、女性たちの高貴さへのあこがれを充たしてくれます。

また、毎回装飾に工夫をこらしており、同じ雛人形でも毎回違う表情を見せてくれるのも佐賀城下ひなまつりの魅力です。

期間中は宮廷衣装である十二単の着装披露会や、歴史民俗館のある柳町を灯りで演出するイベント、琴の演奏会なども開催され、華やかさ、楽しさにつつまれます。

昔から女性のおこがれであったおひなさま。佐賀城下ひなまつりは女性のおこがれにあふれており、華やかさの中で開催されます。



◎会場

徴古館

佐賀市歴史民俗館

(旧古賀銀行、旧古賀家、旧牛島家、旧三省銀行、旧福田家)

◎期間

恵比須ギャラリー

平成15年2月15日(土)～3月31日(月)

◎時間

10:00～17:00

(期間中は無休)

◎料金

徴古館

二〇〇円、

佐賀市歴史

民俗

三〇〇円、

共通券

四〇〇円



会報むつごろ

平成15年2月28日発行
福岡市佐賀県人会
(発行責任者 田中 秀男)
福岡市中央区大手門2-3-7
昭和商业石油株式会社
☎092-714-3111
制作 有限会社タナカ
☎0955-23-5214

編集デスク

平成十五年新春号をおとどけいたします。

福岡市長山崎広太郎氏からごあいさつをいただきました。ありがとうございます。

「新春懇親会」年毎に楽しく賑やかになってまいりました。水間理事の記事でお楽しみ下さい。

全国育樹祭について古賀監事の報告・ご出席の役員の方々ご苦勞様でした。

「佐賀県だより」の記事・写真は毎号佐賀新聞社さんに提供いただいております。ふるさとのニュースのダイジェスト版として好評をいただいております。ありがとうございます。

(T)